

日本生物教育学会下泉教育実践奨励賞 歴代受賞者

2008	岩田眞樹子	小学校5年生 発芽と生長「児童の発想を生かし、発芽に3つの条件が必要であることを発見させる指導の工夫」
	工藤泰子	水中生物の「食べる」を中心にした学習とその影響について
	苗川博史	高校生が地域の小中学生に伝えるバイオ実験教室の実践
	井上陽子	「物作りの視点を入れた顕微鏡観察」 ～教員研修から生徒実験まで～
	布施達治	理科総合における野外学習プログラムの展開と生徒の環境意識について 2009
2009	工藤泰子	小学校理科で種子植物の生活史を習得させるための学習
	成田智哉	幼虫の脚をみつめる－幼虫アスレチック」を用いたモンシロチョウの幼虫の観察－
	中村雅浩	超簡単マイクロトームの工夫と応用 [II]
	布施達治	オホーツク地域の自然環境を利用した環境保全プログラムの実践と参加生徒の意識変容について
	小川博久	中学校理科におけるDNA・遺伝子を実感する学習プログラムの検討 2010
2010	中井咲織	命の学習・系統分類・野外実習を一度にできる生徒実習の提案
	井田宏一	通信制高校における実験観察教材の開発
	片山 豪	セントラルドグマを体感する生徒実験の取り組み －小麦胚芽無細胞タンパク質合成系を用いて転写、翻訳を可視化する－
	成田智哉	幼虫の脚を比較させる授業プログラムの開発 －形態や数の違いから成育環境とのかかわりを考察させる－
	平岩真一	インスリンのリボンモデル作成実習
2011	佐藤紗智子	生命に対する探究心を高める効果的なデジタル教材の作成と授業実践 －卵殻内培養法を用いたニワトリの発生の継続的観察－
	小川博久	生命を実感するマイウニ飼育の実践と生徒の意識の変容
	藤枝秀樹	高等学校生物における探究活動の在り方を探る －科学プロセススキルの育成を図る実践－
	大村千博	地衣類ナミガタウメノキゴケの移植実験と大気汚染との関連調査
	山野井貴浩	生物の共通性と多様性を「進化」でつなぐ －オリガミバードαと分子系統樹実習の併用効果－ 2012
2012	村松聡子	大腸菌を形質転換させて終わってしまうのは「もったいない！」
	高橋知美	カイコの性行動を探究する
	野村浩一郎	新指導要領に対応したメダカを使った遺伝学教材の開発
	早崎博之	『生物基礎』における生態分野の授業
	山下浩之	オオカマキリ (Tenodera aridifolia) の飼育がもたらす生命観の変化と教材としての価値 2013
2013	飯田勇次	中学校家庭科－五大栄養素の学習－に海藻の実験を取り入れた実践例
	内山智枝子	セントラルドグマの理解を目的としたアクティブ3D教材の開発と授業実践
	東城秀人	葉以外の部分は光合成するか？ －簡易装置を用いた光合成能の検出－
	永澤勇氣	種子なしピーマンから学ぶ、結実における植物ホルモンの働き －高等学校における実験データの分析・解釈を重視した実践－
	藤枝秀樹	生きている化石」を扱った探究活動 －カプトガニを探究する－ 2014
2014	井口藍	生物部における研究指導
	小松原幸弘	高校生による高校生のための分子生物学特講 ～手動PCRによるGMOの検出～
	廣瀬志保	高校生物における学習の指導と評価を一体的に行う授業改善に関する研究
	藤修	めざせ環境ジャーナリスト「E!? その魚 メダカじゃないんですか？」
	布施達治	ニホンミツバチの教材化と授業の効果に関する実践研究
	本橋晃	高等学校「生物基礎」におけるATPの作用を示す実験
2015	片山祥子	地域の海洋生物ホヤの教材開発と授業実践
	川島紀子	頭骨標本の観察と動物観察プログラムの学習効果 ～中学校理科「動物の生活と生物の変遷」の学習における動物園の活用～
	雑賀大輔	デジタル顕微鏡を用いたヒト毛細血管の血流観察および授業での活用
	佐伯友美	地域の自然をフィールドとした自然体験活動教材の開発と実践
	高橋哲也	しつがい腱反射を簡単に起こすことができる方法の開発と通信制・単位制高校におけるその使用実践